

どるーつと遊覧

文化とスポーツのまち、利根川流域へ

熊谷市葛和田から赤岩渡船で群馬県赤岩へ。そして熊谷市俵瀬へ

利根川上空を飛び舞う

“とねがわ” わくわく遊覧

ようこそ葛和田へ

利根川

千代田町最古のお寺。
荻野吟子の長屋門がある

光恩寺

群馬県千代田町
赤岩

日本最初の女性医師
荻野吟子記念館

赤岩渡船

赤岩から船が迎えにきます

熊谷市 葛和田

熊谷市 俵瀬

利根川中流域
遊覧

赤岩渡船

県道扱いの無料の船。毎日運行中

活発なマリンスポーツ
グライダー、ウインドサーフィン

グライダー場

めぬまガイドボランティア阿うんの会のご案内します

ガイド申込は、「申込書」を用意しています。下記の電話、ホームページからご用命ください
TEL/FAX 048-589-0004 HP <http://oginoginkokinenkan.com>

主催 NPO 法人めぬまガイドボランティア阿うんの会
後援 (一社) 熊谷市観光協会 / 熊谷市立荻野吟子記念館

ようこそ利根川へ遊覧のご案内

埼玉県北部地域は、近年、渋沢栄一（深谷市）、塙保己一（本庄市）、荻野吟子（熊谷市）の三偉人として、又は一万円新札（渋沢栄一）世間は賑わっております。また、その中間地点の利根川近辺は、江戸末期から明治初期に文化・歴史が開花した時代でした。利根川沿いの熊谷市葛和田、俵瀬と対岸の群馬県千代田町赤岩は、文化と歴史の満載スポットです。

この度、利根川中流域の文化と歴史に触れる方々を対象に、下記の通り、その地区のスポットをご案内いたします。

記

- 1.利根川中流域の文化と歴史に触れる旅。『利根川スピリッツ』
- 2.地域: 北埼玉熊谷市の葛和田、俵瀬と群馬県赤岩
- 3.荻野吟子記念館/大杉神社(暴れ神輿)、光恩寺(千代田町赤岩)他文化財
- 4.コース(散策、遊覧、時間帯、スポット)
 - 4-1 フル3時間コース(集合9時→解散 12時)
A 葛和田集合→葛和田渡船→赤岩(サイクリングロード、光恩寺)→
帰り 赤岩渡船→俵瀬(サイクリングロード)、
荻野吟子記念館、大杉神社)→葛和田解散
 - 4-2 ハーフ 1.5時間コース(集合9時→解散 10時30分)
B 葛和田集合→葛和田渡船→赤岩(サイクリングロード、光恩寺)→
帰り 赤岩渡船→葛和田解
C 葛和田集合→葛和田渡船(見学のみ)→
俵瀬(サイクリングロード)、
荻野吟子記念館、大杉神社)→葛和田解散コースは自由に選択、時間割も変更可能。事前確認します。
- 5.費用:ガイド料(1人~20人に対して、説明員1人)
A コース:3,000円、B,C コース:2,000円

申込書:荻野吟子記念館ホームページに掲載の申込書にて申込ください。
お問合せ:

NPO 法人めぬまガイドボランティア阿うんの会
〒360-0223 熊谷市俵瀬 581-1 荻野吟子記念館内
電話/FAX 048-589-0004
ホームページ <https://oginoginkokinenkan.com>



ようこそ、文化とスポーツのまち 利根川流域へ

①利根川



これから、葛和田、赤岩、俵瀬をご案内します。

解説文

『今から200年以前の江戸末期から明治にかけての葛和田と赤岩は、渡船場として、群馬と埼玉を繋ぐ街道筋の町として栄えました。また、この地は利根川の中継地として、大型船が往来し船に関わる仕事と生活が盛んでした。偉人達もこの利根川を介して、多くの文化を培って来たものでしょう。電車のない当時の利根川を通じての生業が、重要視されたことでしょう。』

②葛和田(熊谷市)



ここは群馬県九重町と熊谷市葛和田を挟む利根川中流域を往復する船でおなじみの「葛和田の渡し」(群馬県側は「赤岩の渡し」)です。本日はこの地にお集まりいただき歓迎申し上げます。

それでは、私たち NPO 法人阿うんの会が利根川中流域とその周辺の見所をご案内します。

(1) 先ずは、ここ「葛和田の渡し」から船に乗り、対岸の赤岩に向かいましょう。⑨



①利根川中流域(ここは利根川の間接地)。ここ葛和田は熊谷駅から利根川(7,2Km)の熊谷バス終点です。

①先ずは、「葛和田(くすわだ)」ここからです。河川敷には、渡船場を挟んで、サッカー場、グライダー場があり、赤岩から船がここまで迎えに来ます。この河川敷は、集合場所に最適です。【地図、バス時刻表】参照

(2) 利根川の渡船からの眺めは絶景です。ジェットボートの近くは通りません。



⑨葛和田の渡し(群馬県側は赤岩の渡しと呼ぶ)

この上流から浅くなり、大型船はここまで。上流には小さな船に乗り換える必要性から、渡船場として発展した。この利根川にはここしかないような。県道扱いの無料。(川幅400m,水深4m~80mm)。約5分程度で赤岩に到着します。8時30分~17時(夏期)運航
利根川上流には「刀水橋」、その先は群馬県の赤城山、春名山などなどがみえる。船からの眺めは最高。

葛和田のスポット

⑩刀水橋 大龍寺 ⑨葛和田河岸/葛和田の渡し サッカー場 ⑥マリンスポーツ

③赤岩(群馬県)



千代田町 赤岩宿他 商店街 昭和30年～昭和50年

解説文

『利根川の中流域に位置する群馬県には赤岩という地名があります。江戸時代末期から明治の初め頃には群馬県と埼玉県を繋ぐ渡船場として発展してまいりました。昭和40年代の赤岩の商店街は、128軒でした。』

利根川の船は生活に欠かせない存在でした。群馬県側は赤岩の渡しで称賛されています。これから、赤岩入口から赤岩をご案内します。

(3)「赤岩の渡し」に到着としました。群馬県側の堤を超えれば、ここは千代田町です。



⑧赤岩河岸/赤岩の渡し

群馬県側では赤岩の渡し(熊谷側では葛和田の渡し)赤岩河岸に到着し、堤を越えると「千代田町赤岩」が目前です。サイクリングロードが利根川に沿って左右に広がっています。ここf例年、スポーツとお祭りが繰り広げられます。【赤岩宿地図】参照

(4)千代田町中央の小さいな森の中には「赤岩山光恩寺」があり、境内の奥には「光恩寺長屋門」荻野吟子生家長屋門が今も残されています。



①光恩寺

千代田町にある最古のお寺で、約1,200年前に開かれたと伝えられています。境内には日本で最初の女医である荻野吟子氏の生家から移築された旧長屋門や、国指定文化財の銅五種鈴、阿弥陀三尊像など多くの文化財を所蔵しています。アジサイや睡蓮などの季節を彩る花木も豊かで、秋には十月桜と紅葉とのコントラストも楽しめます。【光恩寺パンフレット】参照

①荻野吟子の生家長屋門

荻野吟子は日本の医師国家試験に合格した最初の女性です。それまで、女性には医師国家試験の受験資格がなく、医学校への入学すら許されていませんでした。道なき道を切り開いて医師へ夢を実現するには、並々ならぬ決意があったことでしょう。その固い決意をもって生家にあった長屋門をくくり、上京したのは明治6年11月8日のことでした。見事、医師国家試験に合格し、医院を開業したころ、実家の建物を整理することになり、荻野家の近所に住んでいた光恩寺の檀家を介して、等寺の境内に移築したといわれています。

⑤赤岩の新田家

江戸時代末期、嘉永年間創業の割烹「新田家」があります。名物はうなぎです。その昔は、旅館を営んでいた新田屋さん。田山花袋の小説の舞台にもなりました。田山花袋の定宿だったそうで入り口には田山花袋の書が飾ってあります。

(5)堤を超えると古き料亭が一軒「赤岩の新田家」。江戸時代末期、嘉永年間創業のうなぎ料理屋です。



②利根大堰 ①光恩寺/荻野吟子生家長屋門 ⑤赤岩の新田屋 ⑧赤岩河川/赤岩の渡し

④俵瀬(熊谷市)

『赤岩見学、満足いただけましたでしょうか。赤岩スポットをご覧いただきましたら、葛和田へ帰路となります。再び赤岩渡船に乗って、利根川の水を楽しみましょう。葛和田と俵瀬の美しい景観と文化をお楽しみください。』

(6)「赤岩の渡し」⑧向こうは熊谷市葛和田河岸です。空を見上げればグライダーが。「めぬまグライダー滑走場」④からでした。



②利根大堰(利根川下流)

昭和43年以来取水開始、利根川中流域の農業用水や首都圏生活者の飲料水、工業用水を支える重要な堰です。せきとめられた上流部の水面はウインドサーフィンやジェットスキー等水上スポーツのメッカとして、上下流域は多くのフィッシングポイントがあります。

「赤岩河岸」に戻り、赤岩渡しから葛和田渡しへ船で戻ります。利根川のスポット葛和田のサイクリングロードを利根川下流に向かいます。

④妻沼グライダー滑走場

利根川河川敷に広がる妻沼グライダー滑走場は滑空時間、飛行回数ともに日本一を誇ります。昭和38年の開設以来、多くの学生が飛行訓練にはげんでいます。人気コミックで映画化された「ブルーサーマル」に登場しますね。

(7)葛和田河岸は、最初、皆さんが集まったところです。ここから熊谷市葛和田地区をご案内しましょう。

(8)皆さん。ここから堤の上の散策ロードを歩いて、俵瀬地区へ向かいましょう。堤の上は風は爽やかですね。ここは俵瀬「荻野吟子生誕之地公園」「荻野吟子記念館」です。



③荻野吟子生誕之地・荻野吟子記念館

熊谷市俵瀬には、吟子生誕之地公園(敷地内には記念館)があります。この公園の記念碑や銅像は吟子の面影が残されています。荻野吟子は嘉永4年(1851年)ここ俵瀬に生まれております。結婚するまでここで成長しました。昭和になり渡辺淳一の小説「花埋み」が登場し、著名になりました。

●大杉神社/暴れ神輿

- 大杉神輿は葛和田/大野/俵瀬村(江戸時代)は河岸場として賜った。
- 荒宿に「与助」という腕の良い船頭が、江戸まで三十余里を運航していたところ、暴風になったので、「南無大杉大明神」を唱えたところ、白髪の大杉様が現れ波静かなところに運んでくれた。
- 享和元年(1801)この出来事をきっかけで、そのお礼として安全を祈願して、大杉様の神輿を造ったそう。
- 大正3年(1914)利根川堤防新設工事に伴い、大杉神社は現在の地「神明舎」に移動した。
- 神明社と大杉神社それぞれの鳥居がある。
- 明治6年(1873)現在の神輿に造り替えられた。

●福川水門福川水門は、福川と利根川の合流部に位置し、逆流防止目的として建設されました。昭和53年度完成。利根川上流河川事務所の中で一番大きい水門です。



見所ポイント

- ④妻沼グライダー場 ⑦暴れ神輿/大杉神社
- ③荻野吟子生誕之地公園/荻野吟子記念館
- 福川水門

⑤終点(葛和田の渡し、バス終点)

お疲れ様でした。またのお越しをお待ちしております。

おわり

主催元

NPO 法人めぬまガイドボランティア阿うんの会
〒360-0223 熊谷市俵瀬 581-1 荻野吟子記念館内
電話/FAX 048-589-0004

<https://oginoginkokinenkan.com>



協力元

光恩寺

〒370-0503 群馬県邑楽郡千代田町大字赤岩 1041
電話 0276-86-2157

<https://www.akaiwasan-kouonji.or.jp/contact.html>



荻野吟子記念館

〒360-0223 熊谷市俵瀬 581-1
電話/FAX 048-589-0004

<https://oginoginkokinenkan.com>



グライダー妻沼滑空場

(妻沼行政センター地域振興係)

電話 048-588-1321

<https://www.city.kumagaya.lg.jp/kanko/midokoro/glider.html>



熊谷市観光協会「熊谷観光局」

〒360-0041 熊谷市宮町二丁目 95 番地
TEL 048(594)6677 FAX 048(598)4510

<https://www.oideyo-kumagaya.com/>







千代田町役場

〒370-0598 群馬県邑楽郡千代田町大字赤岩 1895-1
電話：0276-86-2111（代表） ファックス：0276-86-4591

<https://www.town.chiyoda.gunma.jp/kankou/index.html>



ご案内DVD

 ①利根川スピリッツ本編.ISO	2024/07/24 17:59
 ②利根川スピリッツ資料編.ISO	2024/08/12 9:20
 ③利根川スピリッツyoutubuall.ISO	2024/08/12 11:16
 ④利根川スピリッツ(イントロ編).ISO	2024/07/27 20:39
 ⑥スポット具和田赤岩俵瀬.ISO	2024/08/05 17:31